

歯周病と全身との関係

歯周病は、お口の中だけの病気ではありません！

歯周病菌は、血管を通過して全身に届き、さまざまな病気を発症・悪化させてしまうことが明らかになっています！



認知症

歯周病が動脈硬化につながり、脳卒中が起こる。これは認知症の遠因にもなります。



心疾患

歯周病による動脈硬化が心臓の血管を詰まらせ、狭心症や心筋梗塞につながるとの報告が認められています。

また、心筋の内膜に歯周病菌が付着し炎症を起こします。



糖尿病

歯周病があると糖尿病が悪化し、また、糖尿病になると歯周病にかかりやすくなります。



リウマチ

歯周病菌が関節リウマチの発症・悪化に関与しているのではないかと、また、歯周病の治療によって関節リウマチの症状が改善されたという報告があります。



バーチャー病

指の血流が滞り、壊死することもあるバーチャー病は、歯周病と喫煙が深く関係するといわれています。



誤嚥性肺炎

歯周病菌の含まれた唾液が気道に入ることによって誤嚥性肺炎のリスクが高まり、特に飲み込む力が低下した高齢者に起きやすくなります。



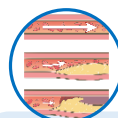
肥満

歯周病菌の毒素で肥満が進行するといわれています。脂肪の増加で分泌されるアディポサイトカインが歯周病を悪化させる悪循環も。



骨粗しょう症

骨粗しょう症が進行すると、歯を支えているあごの骨ももろくなります。そのため、骨粗しょう症の人が歯周病にかかると進行が速まります。



動脈硬化

歯周病菌が動脈硬化を起こしている血管に付着すると、さらに血管を狭めるとされます。

